

平成29年(2017年)12月12日(火曜日)

古紙回収業務で三島市を提訴へ「資格ない業者が落札」

三島市の産業廃棄物処理業「東部処理」(小竹茂社長)は11日、市内の資源古紙回収業務の公開見積もり合わせ

で、参加資格のない事業者を参加させ、同事業者が落札したことで自社に損害が出たとして、市を相手に約2800万円の損害賠償を求めて年内にも静岡地裁に提訴すると明らかにした。市役所で記者

会見した小竹社長らによると、公開見積もり合わせは2015年1月14日に実施し、古紙回収の業種登録がない市外の事業者が落札した。その後、同30日に業種登録されたことを情報公開請求で確認したという。東部処理は2番札だった。落札業者が市の規定に反し、「市内に営業所の実態がない」とも指摘している。

市によると、当時の古紙回収の公開見積もり合わせは、一般廃棄物収集運搬、または古紙回収に業種登録された14社のうち、市が5

社を指名して行った。小竹社長は「ルールを逸脱して競争性を高めなくても意味がない。職員が虚偽説明も提訴に踏み切った一因」と述べた。会見を受け市側は管

財課名義の書面で、「職員の不正や法令違反は断じてなく、要求を受け入れる意思はないが、訴状が届いた段階で顧問弁護士と協議し、対応する」とコメントした。